

8-4-6 河川計画専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

専門委員会を計 9 回（6～12 月，4～5 月）開催し、河川講習会、河川見学会および若手技術者向け勉強会の企画・運営について審議した。

(2) 河川講習会の実施

第 25 回河川講習会を実施した。講習会のテーマは「洪水・地震災害に対する河川技術」と題し、平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による鬼怒川堤防決壊のメカニズムを体系的に理解すること、気象や洪水の水理現象だけでなく地盤工学の観点から堤防の安全性評価の知見を得ること、そして平成 28 年 4 月の熊本地震による被害の全容と復旧状況を把握することを目的として 3 名の講師の方に講演を頂いた。

a) 開催日時と場所

- ①東京会場：2016 年 10 月 25 日(火) 発明会館
- ②大阪会場：2016 年 11 月 8 日(火) 建設交流館

b) 講演テーマと講演者

- ①特別講演：平成 27 年関東・東北豪雨による鬼怒川水害から学んだこと

群馬大学大学院理工学府 教授 清水 義彦

- ②河川堤防の浸透対策・地震対策

土木研究所 地質・地盤研究グループ

上席 佐々木 哲也

- ③関東・東北豪雨、熊本地震等による河川被害の現状と対応

国土交通省水管理・国土保全局 治水課

企画専門官 青野 正志

- c) 参加者：東京 147 名、大阪 167 名、合計 314 名であった。（前年は 317 名であった。）

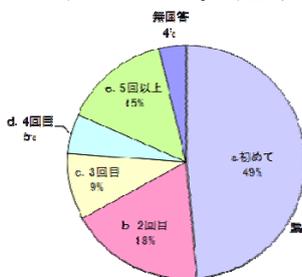


図 1 参加者の参加回数
(東京会場アンケート結果)

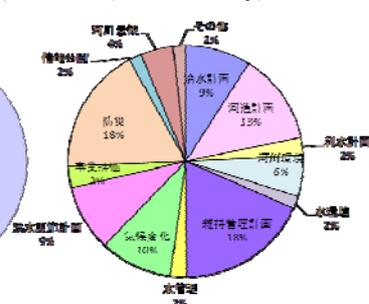


図 2 今後希望するテーマ
(東京・大阪会場アンケート結果)

(3) 河川見学会の実施

建設コンサルタント協会会員を対象に総合土

砂管理の観点から砂防の現場の見学会を実施した（参加者 26 名）。見学会では、国土交通省日光砂防事務所佐藤事業対策官および金沢技術係長に現場を案内して頂いた。

a) 開催日とテーマ

- ①開催日：2016 年 10 月 18 日(火) 12:20～16:00
- ②テーマ：「日光市街地と世界遺産を土砂災害から守る砂防事業の取り組み」

b) 見学場所

日向砂防堰堤・稲荷川山腹工、稲荷川第 10 上流砂防堰堤、天狗沢護岸（世界遺産内の砂防施設）、野上沢下流砂防堰堤 他

(4) 若手技術者・学生向け勉強会

建設コンサルタント若手技術者のファシリテーション能力の向上と学生への広報のあり方の研究を目的に実務演習を行った。首都大学東京横山准教授にご協力頂くとともに、現場研修について京浜河川事務所に許認可・助言を頂いた。

- a) 開催日時・場所：6/14（首都大学東京）、6/23（浅川現場）、7/7・7/19（首都大学東京）

- b) 参加者：河川計画専門委員（5 名）/建コン若手技術者（7 名）/首都大学東京 横山准教授と学生 44 名

- c) 実施方法：WS 形式（7 班に分けて実施）

- d) 実施結果：約 40%が興味を持つきっかけとなった。（アンケート結果より）

(5) 研修会への講師の派遣

全国建設研修センターが開催する以下の研修会へ講師を派遣した。

- ①地域の浸水対策研修（5 月）
- ②河川整備計画・事業評価研修（8 月）
- ③タイムライン策定研修（1 月）

(6) ICHARM との意見交換について

平成 28 年 11 月 11 日（金）に ICHARM からの要請を受けて、RRI モデル意見交換会を開催した。（建コン 17 名、ICHARM 関係者 19 名）

2. 次年度の活動について

会員からの開催要望が多い河川講習会や対外的活動（講師派遣、意見交換会等）は継続するが、その他は中期的な視点で取り組むべき事項を委員会で議論する。

（河川計画専門委員会委員長 天野 光歩）